

2018年4月25日

特定非営利法人 世界遺産アカデミー
／世界遺産検定事務局

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 世界遺産「登録」勧告か？

注目のイコモス勧告(4月末～5月初旬)を前に、世界遺産候補のポイントを解説します。



大浦天主堂

2018年6月24日(日)より開催される第42回世界遺産委員会に先立ち、4月末～5月初旬にユネスコの諮問機関イコモス(国際記念物遺跡会議)から世界遺産登録に関する勧告が出ます。イコモスによる4段階の勧告のうち「登録」勧告であれば、世界遺産委員会でそのまま登録されるのが通例となっています。

日本政府は2018年の世界遺産委員会に、文化遺産候補として「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(長崎、熊本の12資産)を推薦しており※、今回イコモスがどのような評価を下すのか、大きな注目が集まっています。

このたび特定非営利法人 世界遺産アカデミー(東京・千代田区)では、主任研究員の宮澤光が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の注目点をまとめました。報道の際にご参照いただけますと幸いです。 ※自然遺産として「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」も推薦しています。

◇2018年世界遺産候補◇

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」注目のポイント

① 世界遺産へ“再チャレンジ” 苦難の道

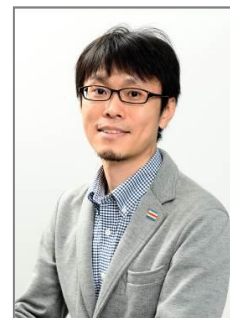
- ・2013年に文化審議会の推薦候補になるも、「明治日本の産業革命遺産」が最終的に推薦された。
- ・2015年に推薦されたものの、イコモスに「価値証明が不十分」と指摘され、推薦を取下げた。

② イコモスと推薦国が協力した「世界初」の事例

- ・長崎県はイコモスと世界遺産登録に関するアドバイザー契約を結んで推薦書を作成。
- ・これは新たな試みで「潜伏キリシタン関連遺産」はこの施策を用いた世界初の事例。

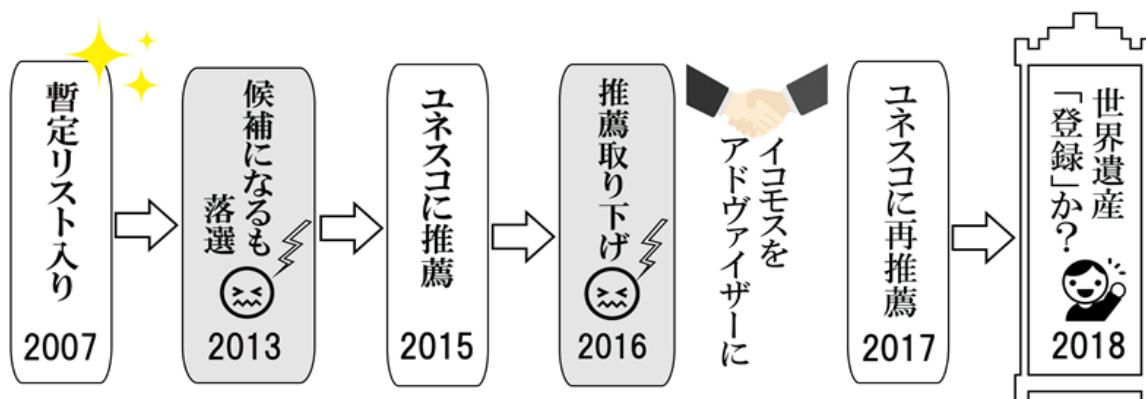
アドバイザー契約によって遺産価値が修正され、遺産価値がより明確になった。「登録」勧告が出る可能性は高い

☆詳しくは、世界遺産アカデミーHP 研究者ブログ141
『今週末にも出るか「登録」勧告』をご覧ください。



宮澤光主任研究員

◇「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産への道のり



詳しくは研究員ブログでもご覧になれます。

世界遺産アカデミー 研究員ブログ 検索

<世界遺産アカデミー主任研究員>

宮澤 光(みやざわ・ひかる)

北海道大学大学院国際広報メディア研究科博士後期課程を満期単位取得退学。

仏グルノーブル第Ⅱ大学留学。國學院大学北海道短期大学部兼任講師を経て、2008年より現職。

跡見学園女子大学非常勤講師。

■メディア出演・取材協力

NHK総合「世界遺産決定スペシャル～明治日本の産業革命遺産～」、BS朝日「いま世界は」、長崎新聞「潜伏キリシタン遺産～世界遺産へ」、読売中高生新聞「世界遺産ノート」(連載中)ほか

◇取材・コメントなどのご要望がございましたらお気軽にご連絡ください◇

NPO 法人 世界遺産アカデミー (世界遺産検定事務局)

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9 階

広報担当 永坂 (ながさか)、山中 (やまなか)、下矢 (しもや)

TEL. 03-6267-4158 FAX 03-6212-5022 E-mail sekaken@wha.or.jp

※土・日・祝日は携帯 090-9968-9581 (下矢) までご連絡ください。

世界遺産アカデミーとは

ユネスコの理念を広め、多文化理解を進めることで、世界遺産の保全活動の輪を広げ、社会に貢献することを目的に設立。2006年より、世界遺産条約の理念や世界遺産の価値を学ぶ「世界遺産検定」を開催。これまでにのべ18万人以上が受検、10万人以上が認定されている。受検料の一部はユネスコの信託基金「世界遺産基金」に寄付され、世界遺産の保護・保全に役立っている。

©世界遺産アカデミー公式 HP:www.wha.or.jp 世界遺産検定公式 HP:www.sekaken.jp